

成人を祝う（本宮三香）
せいじん いわ もとみやさんこう

迎え得たり 青年廿歳の春
むか え せいねん はたち はる

邦家の恢復是精神
ほうか かいふく これ せいしん

桑蓬夙に抱く四方の志
そうほう つと いだ しほう ころざし

獨立自尊安くんぞ人に頼らん
どくりつ じそん いず ひと たよ

迎得青年廿歳春 邦家恢復是精神
桑蓬夙抱四方志 獨立自尊安頼人

解説 二十歳になり大人の人間の誕生を祝う詩。

語釈 ※恢復Ⅱ元の状態に戻すこと。または、元の状態に戻ること。

※桑蓬Ⅱ男子が生まれたとき前途を祀う桑の弓。男子が四方に活動して功名を立てんとする精神を桑蓬の志と言う。

※夙Ⅱ昔から。早い時期から。※四方志Ⅱ男子が天下諸国をめぐり経営しようとする志。※自尊Ⅱうぬぼれること。自負。

通釈 あなたは今二十才の成人の日を迎えたのである。一つ國家のために蓋くしてもらいたい。されば桑蓬の志を忘れずに、自重自愛決して人に頼ってはならない。自ち進んで事にあたってもらいたい。